



SP26

SPEAKER PROCESSOR

USER MANUAL

導入

HH Electronics SP26 は、フル機能の 2-IN/6-OUT デジタル スピーカー管理システムです。2つのアナログ入力と 6つのアナログ出力を備え、それぞれ強力な DSP エンジンによって管理されます。

2つの入力チャンネルは、11バンドのパラメトリック EQ、ノイズゲート、ダイナミックラウドネスフィルター、最大 900ms のディレイ、RMS コンプレッサーを提供します。

6つの出力のそれぞれは、7バンドのパラメトリック EQ、6dB/oct から最大 48dB/oct までのスロープを持つクロスオーバー、340ms のディレイ、および RMS 圧縮/ピークリミッター設定を提供します。

直感的なフロントパネルコントロールとローカルセットアップ用のインタラクティブな LCD ディスプレイ、または USB または RS485 経由のリモート監視と設定用の専用 PC 制御インターフェイスにより、簡単なセットアップが保証されます。

SP26 ラウドスピーカープロセッサは、あらゆる HH スピーカーシステムに完璧に対応し、ライブサウンド、屋内/屋外イベント、街頭演説、演劇、ツアーなどのさまざまな用途に適しています。

また、TNA ラインアレイシステムで使用するために専門的に作成されたオーディオプリセットがプリロードされており、箱から出してすぐに簡単にセットアップできます。

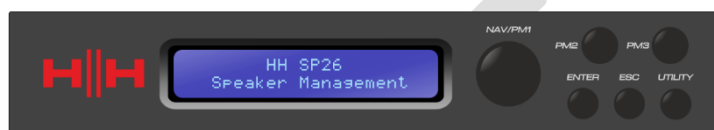
特徴

- 高性能 2 入力、6 出力ラウドスピーカープロセッサ。
- 高品質 24 ビット AD/DA オーディオコンバーター。
- 96ビット DSP プロセッサの精度。
- 簡単なプログラミングとセットアップのための USB ポート。
- リンク可能な入力と出力により、ステレオ設定が簡単になります。
- 100 ~ 240 V で世界中で動作するスイッチモード電源。
- 1U ラック高さ

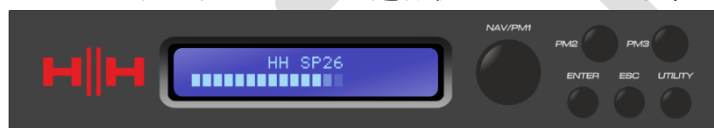
はじめる

HH SP26 の使用をすぐに開始するには、次の手順に従います。

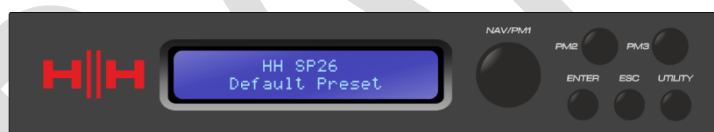
1. 初期接続はすべての機器の電源をオフにして行ってください。ボリューム、レベル、ゲインのコントロールが最小になっていることを確認してください。
2. 信号ソースの出力を SP26 の入力に接続します。
3. SP26 の出力 1 ~ 6 をパワーアンプまたはパワードスピーカーの入力に接続します。
4. 信号源から始めて、機器の電源を入れます。
5. SP26 の電源をオンにするとすぐに、デバイスのモデル名が LCD 画面に表示されます。



6. ステータスバーに SP26 初期化プロセスの進行状況が表示されます。



7. SP26 の起動シーケンスが完了したら、システムセットアップに最適なプリセットを選択します。

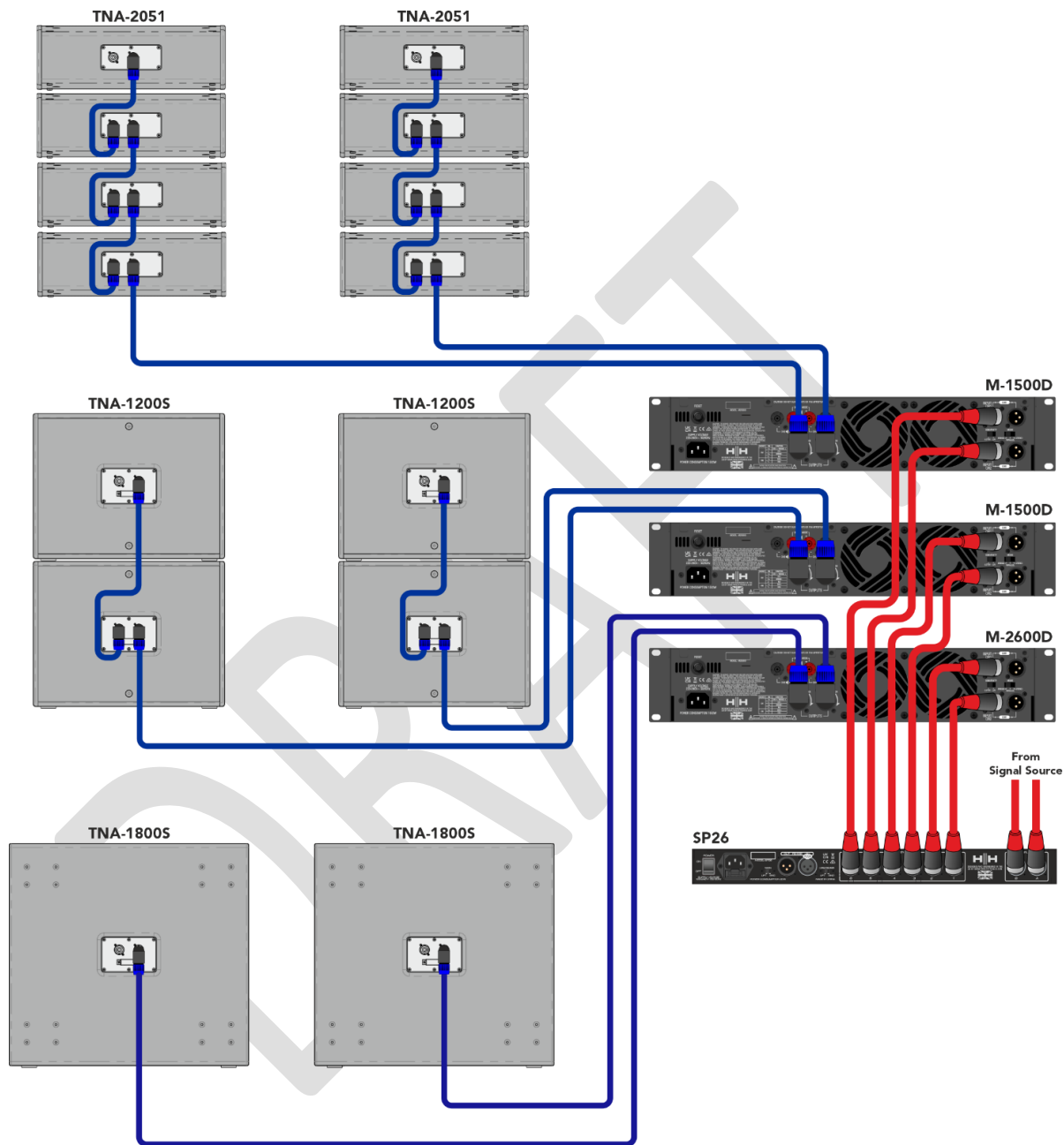


8. パワーアンプ、パワードスピーカー、その他のシステムの電源を入れます。
9. SP26 の入力チャンネルと出力チャンネルのミュートを解除します。
10. システムから音声聞こえるまで信号ソースを上げます。

SP26の接続

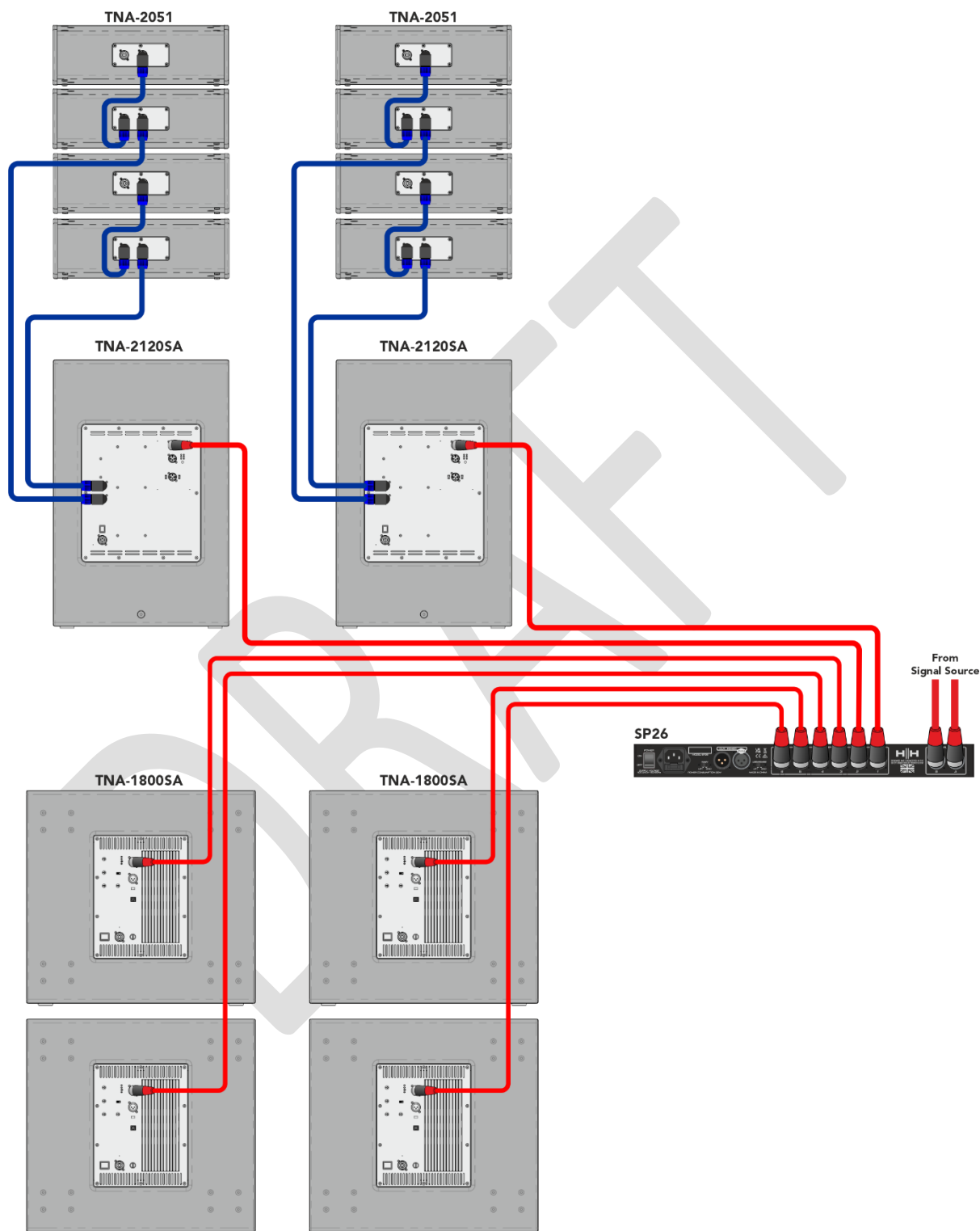
SP26 のシステム接続例をいくつか示します。

パッシブTNAシステム



この例では、SP26 は、HH M シリーズ アンプを使用してパッシブ TNA システムを駆動するようにセットアップされています。2つの入力、ミキサーやメディアストリームなどの信号ソースから来ます。最初の2つの出力は、LF クロスオーバーを備えた2つの TNA-1800 サブウーファーを駆動します。次のフィードは、ミッドバンド周波数用にチャンネルごとに2つずつ、4つの TNA-1200S を駆動します。最後の2つのフィードは、8つの HF TNA-2051 に4つのチャンネルを供給しています。このセットアップは通常、2つの入力チャンネルが左と右の信号を受け入れるステレオで使用されます。

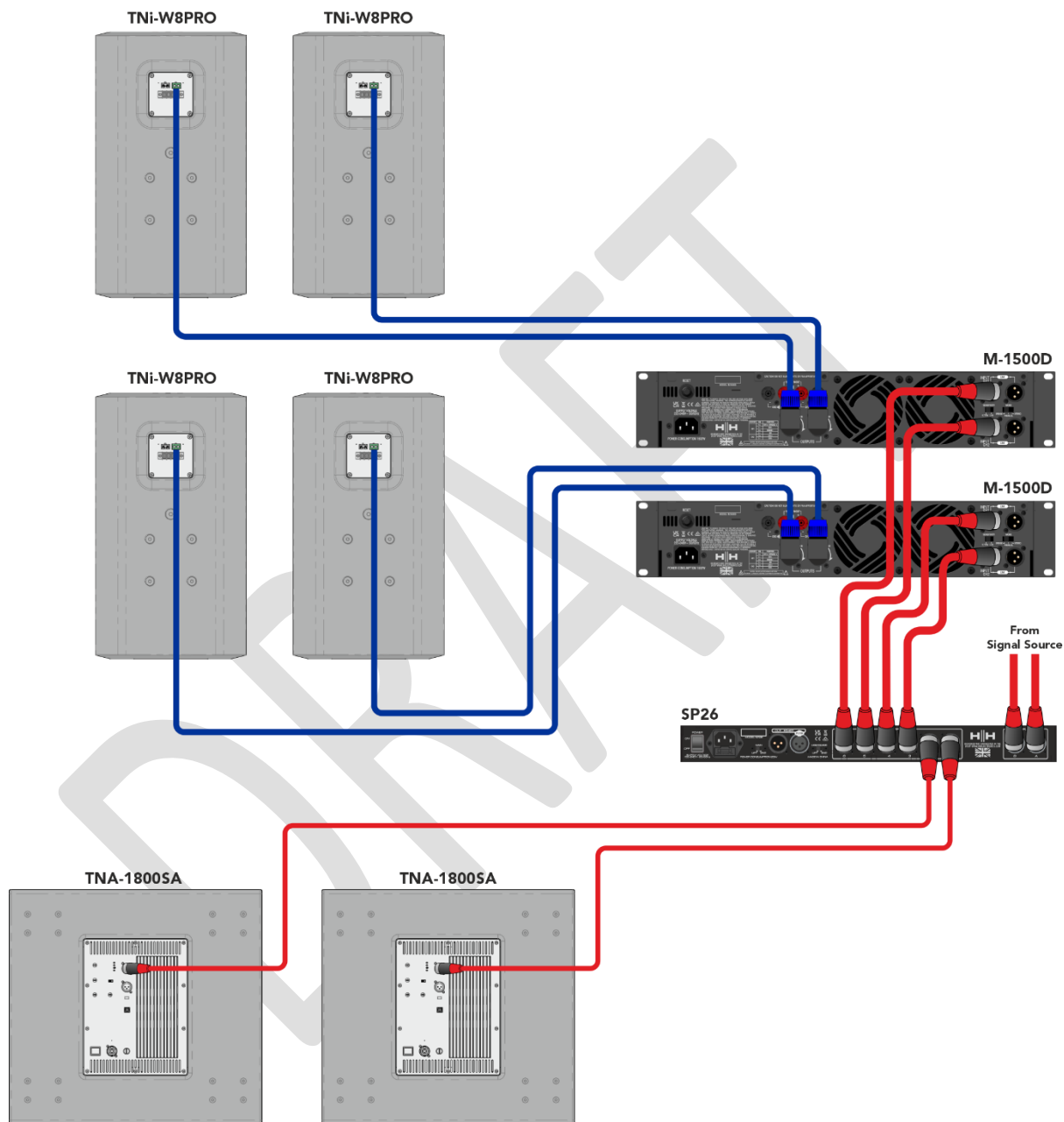
アクティブTNAシステム



この例では、SP26 がパワー スピーカーを備えたアクティブ TNA システムに駆動される様子を示しています。最初の 2 つのチャンネルは、TNA-2120SA MF から HF スピーカーを駆動するために使用されます。これらは、オンボード DSP がクロスオーバー周波数を処理

するため、フルレンジの信号を受信します。これにより、SP26 は部屋の環境に合わせてEQ をより自由に調整できます。最後の4つのチャンネルは、4つのTNA-1800SA アクティブサブウーファーを駆動するために使用されます。各サブウーファーに独立したチャンネルがあるため、正確な位相調整が可能になります。

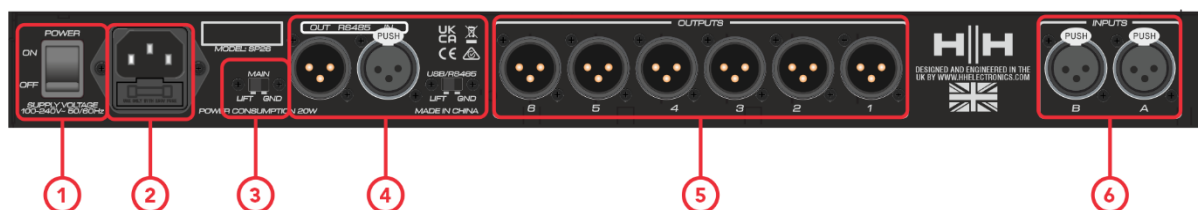
TN i- WPROシステム



この例では、SP26 はパワード スピーカーとパッシブ スピーカーを組み合わせてセットアップされています。チャンネル 1 と 2 は、2つのTNA-1800SA パワードサブウーファーを駆動するために使用されます。これにより、チャンネル 4 ~ 6 は2台のM-1500A アンプを介して4台のTNi-W8Proを駆動することになります。このシステムは複数のサブウーファーとTNi-W8PROで拡張でき、バーやクラブ会場を簡単にカバーできます。

SP26 プロセッサの概要

後面パネル



1. 電源スイッチ

HH SP26のオン/オフを切り替えます。ユニットの電源をオンまたはオフにすると、不要なポップ音やノイズを避けるために出力と入力ミュートされますが、ユニットの電源を入れ直す前に、SP26に接続されているパワーアンプまたはアクティブラウドスピーカーをオフ/ミュートすることをお勧めします。

2. 電源インレットソケットとヒューズ

SP26に付属のIEC電源ケーブルを接続する場所です。SP26は、100 ~ 240 V ~ 世界規模のAC動作を可能にするSMPSUを使用しています。

FUSEにはホルダーからアクセスできます。正しいタイプと定格のヒューズのみを交換してください(T800mA L 250V)

3. グランド/リフト

グラウンドループハムが発生している場合は、GND/LIFTを使用して改善することができます。

4. RS485接続

RS-485 リモート制御および複数のユニットのリンク用のINおよびOUT XLR接続。同一ネットワーク内に最大32台のSP26を接続できます。RS-485セクションには、RS-485接続を介してグラウンドループハムが誘導された場合に備えて、独自のGNDリフトスイッチもあります。

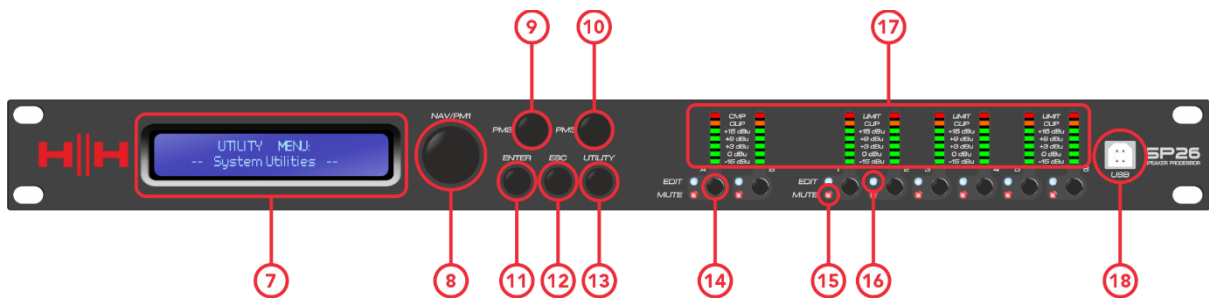
5. XLR出力

プロセッサの各チャンネルに6つのラインレベルのバランス型オスXLR出力。これらをパワーアンプやアクティブラウドスピーカーの入力に接続します。

6. XLR入力

入力チャンネルAおよびB用の2つのラインレベルのバランス型メスXLR入力。これらをメインミキサー出力または他のオーディオソースに接続します。

フロントパネル



7. 液晶

メイン LCD ディスプレイは NAV コントロールと連動し、ローカル SP26 構成設定にアクセスして編集するために使用できます。これは、制御アプリを使用してプロセッサを構成したり、素早い調整を行ったりしない場合に便利です。

8. NAV/PM1

[NAV/PM1]コントロールは、プロセッサによるメニューのナビゲーションに使用されるロータリーエンコーダーです。

9. PM2

[PM2]コントロールは、パラメーター値を編集するためのロータリーエンコーダーです。

10. PM3

[PM3]コントロールは、パラメーター値を編集するためのロータリーエンコーダーです。

11. 入力

[ENTER]ボタンはサブメニューに入り、操作の変更を確定するために使用します。

12. ESC

[ESC]ボタンは、変更をキャンセルするか、前のサブメニューに戻るために使用します。

13. ユーティリティ

[UTILITY]ボタンは、UTILITY サブメニューにアクセスするために使用します。 [「システムユーティリティ」セクション](#)を参照してくださいシステムユーティリティを参照 [REF Ref111549559 \h * MERGEFORMAT](#) 詳細については、セクションを参照してください。

[Magn]および[Phase]チェックボックスは、周波数応答表示をレベル(振幅)または位相表示に変更します。振幅表示のスケールも +/- 9dB、+/- 18dB、+/- 30dB の間で選択できます。

10. 周波数および RMS コンプレッサーの表示カーブ。

11. ノイズゲートの設定。入力チャンネルのノイズゲートの設定はここで行えます。

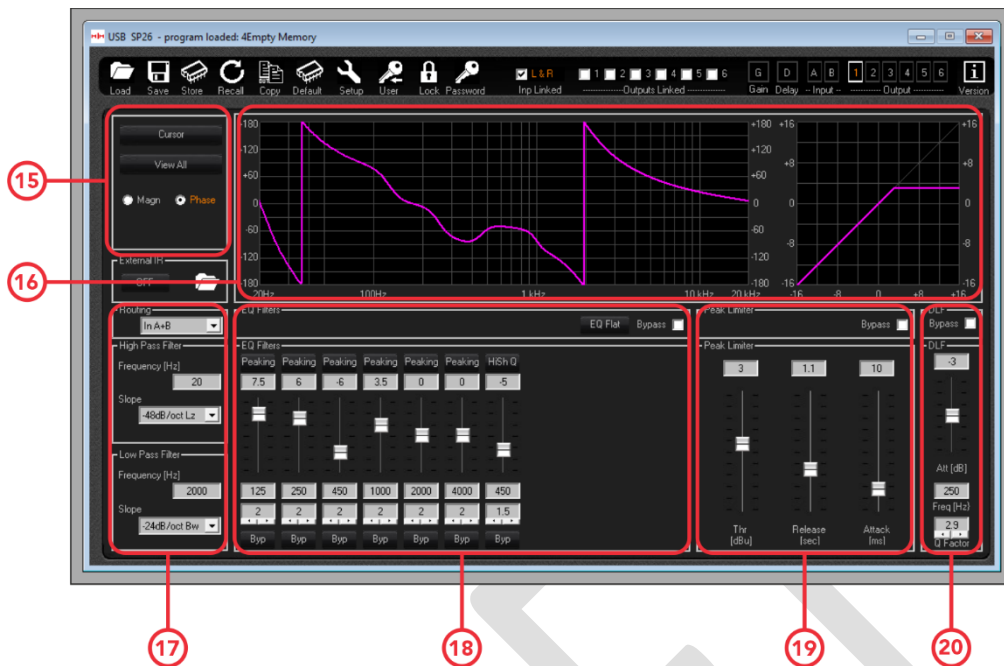
12. 入力チャンネルの 11 バンドパラメトリック EQ のコントロール。

13. RMS コンプレッサーのコントロール。

14. 入力 DLF 設定のコントロール。

DRAFT

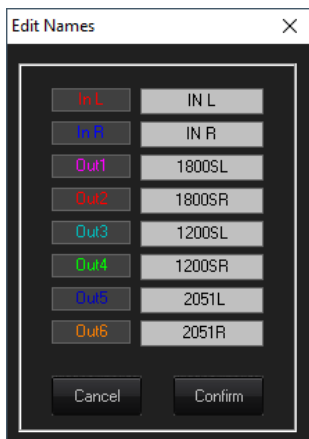
出力画面



15. カーソルと表示のオプション。これらはインプットチャンネルと同様に動作します。
16. 周波数応答と位相グラフ、および RMS コンプレッサー曲線。
17. 選択した出力チャンネルの HPF および LPF フィルターのコントロール。
18. 7 バンドパラメトリック EQ のコントロール。
19. 出力チャンネルの設定に応じて、ピーク リミッターまたは RMS コンプレッサーの設定が表示されます。
20. 出力 DLF コントロール、出力チャンネル 1、3、5 のみ。

チャンネル名の編集

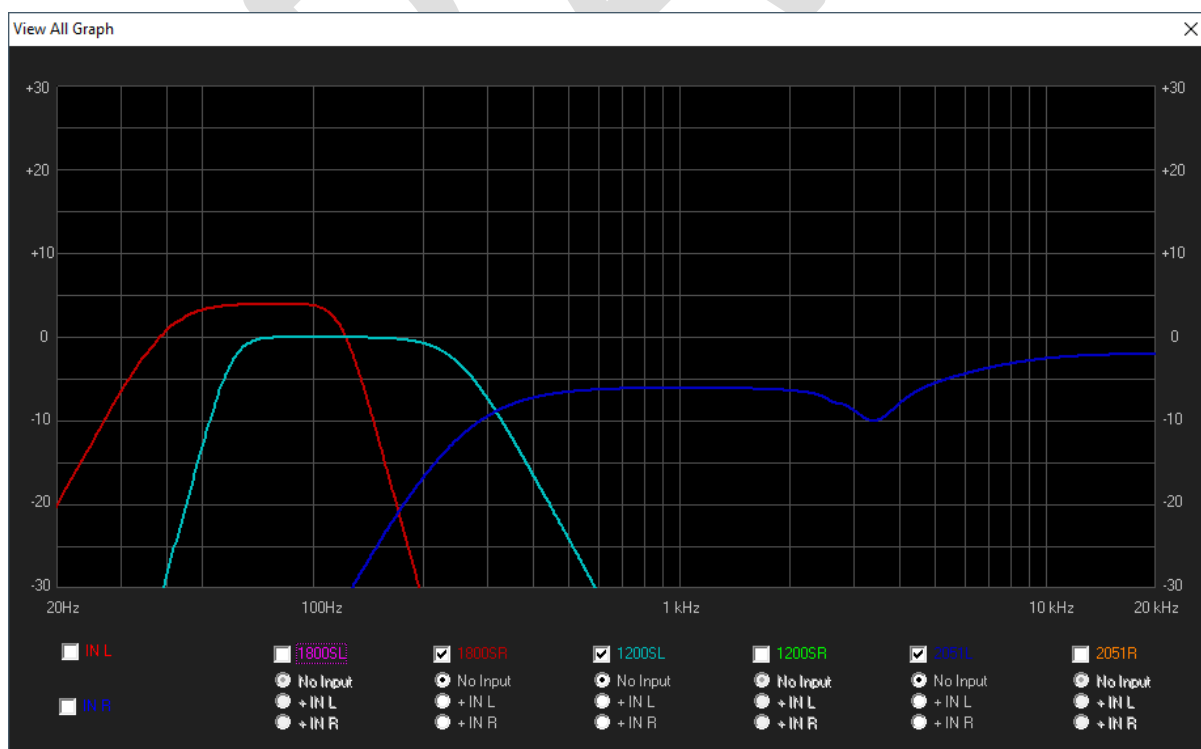
SP26 スピーカー管理ソフトウェアを使用して入力または出力チャンネル名を変更および設定するには、[ゲイン画面]でチャンネル名をダブルクリックして、[名前の編集]パネルを表示します。



このポップアップメニューでは、任意のチャンネル名を変更できます。【確認】を押して変更を適用し、【キャンセル】を押して前の名前に戻します。

すべてのグラフを表示

View All Graph ウィンドウでは、各 EQ カーブを重ねてプロセッサの応答全体を表示することができます。チェックボックスを使用して、各入力カーブと出力カーブを有効または無効にします。



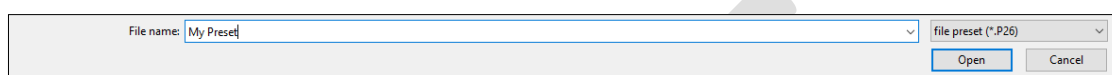
メニュー

メニューバーには、SP26 のプリセット 管理、設定、セキュリティ オプションの機能が含まれています。



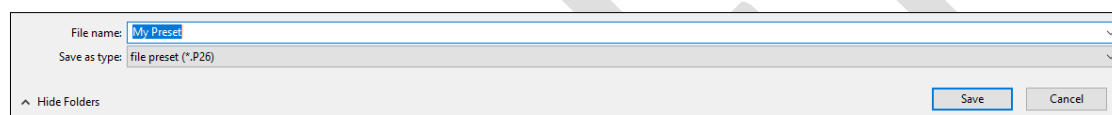
負荷

[LOAD]ボタンをクリックすると、コンピューターからプリセットをロードします。



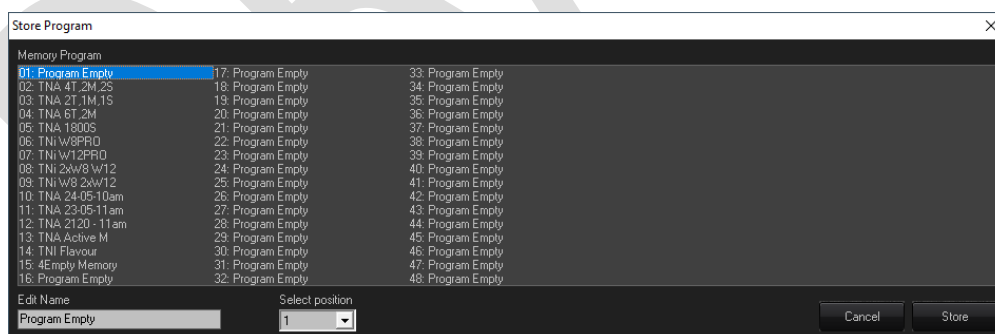
保存

[SAVE]ボタンをクリックすると、現在ロードされているプリセットがコンピューターに保存されます。



店

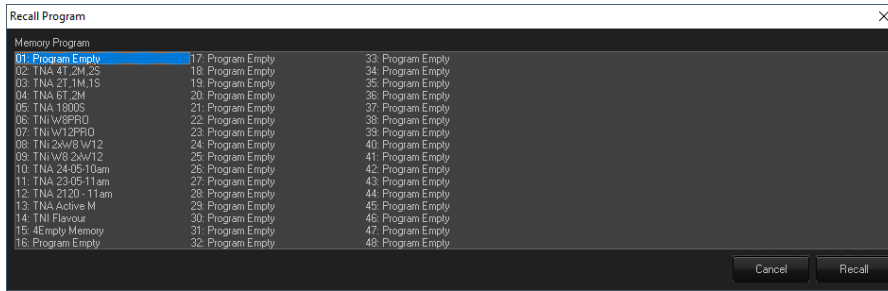
SP26 の 48 個の内部メモリ スロットの 1 つにプリセットを保存するには、**[STORE]**ボタンをクリックします。次の画面で、ドロップダウン メニューから位置を選択し、希望のプリセット名を入力します。**[Store]**をクリックして、プリセットを内部SP26に保存することを確認します。



想起

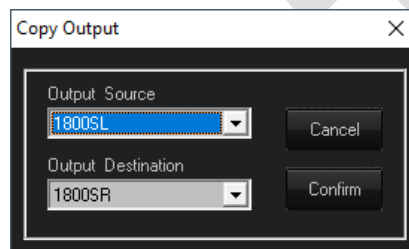
SP26 の内部メモリーからプリセットをロードするには、**[RECALL]**ボタンをクリックします。次に、ロードする希望のプリセットをリストから選択します。

警告 プリセットをロードすると、保存されていない変更は失われます。



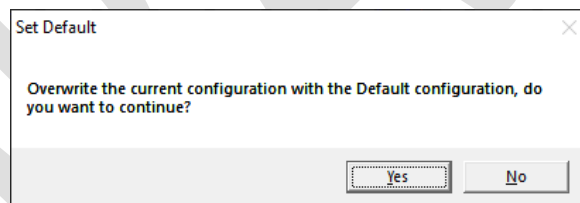
コピー

ある出力チャンネルから別の出力チャンネルに設定をコピーすることができます。[COPY] ボタンをクリックすると、コピー出力ウィンドウが表示されます。出力チャンネルのソースとデスティネーションを選択し、[確認]をクリックしてソースからデスティネーションにパラメータをコピーします。



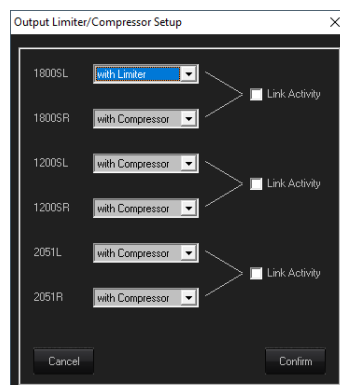
デフォルト

現在のプリセットを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、[DEFAULT]ボタンを押します。確認ダイアログが表示されるので、[はい]を押して確認します。



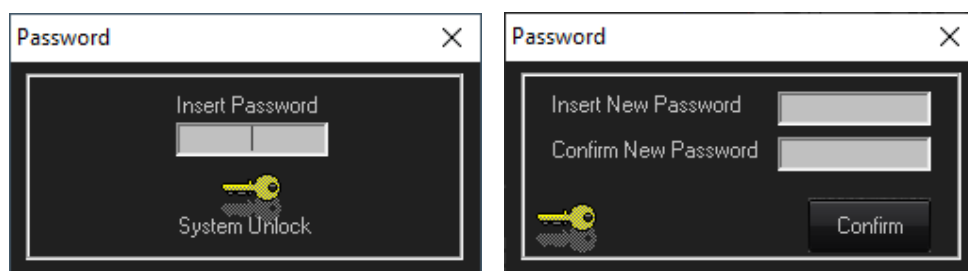
設定

[SETUP]ボタンを押すと、アウトプットリミッター/コンプレッサーのセットアップメニューが開きます。ここでは、出力チャンネルごとにRMSコンプレッサーまたはピークリミッターを設定し、チャンネルペアでダイナミック処理をリンクすることが可能です (**Error! Reference source not found.**)。



ユーザー

[USER]メニューでは、SP26の内蔵セキュリティパスワードを変更できます。まず現在のパスワードを入力し、次の画面で新しいパスワードを2回入力し、[確認]をクリックします。



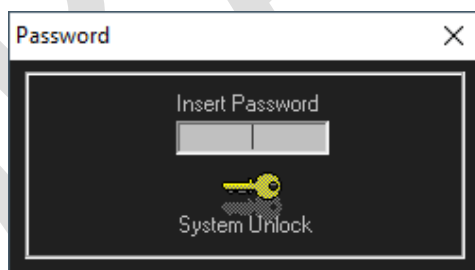
ロック

[LOCK]ボタンを押すとパラメータの編集がロックされます。有効にすると、[LOCK]ボタンに赤色で「LOCKED」と表示され、パラメータを編集できなくなり、接続が切断されてもユニットはロックされたままになります。再度[LOCK]ボタンをクリックすると通常の動作に戻ります。



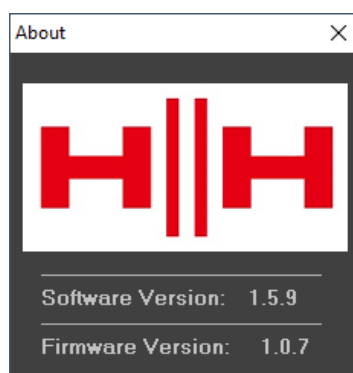
パスワード

[LOCK]ボタンと同様に、[PASSWORD]を押すと、SP26のパラメータ編集が無効になります。異なるのは、ユニットのロックを解除するためにパスワードの入力が必要であることです。パスワードは[USER]ボタンで設定します。



について

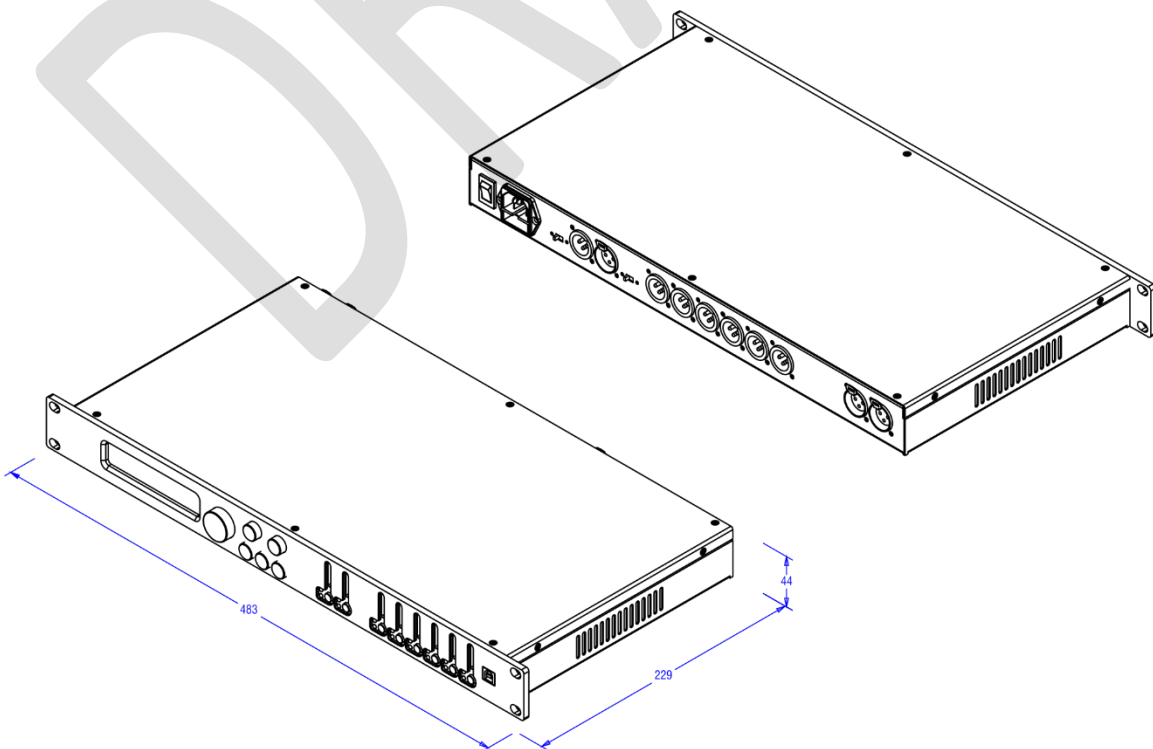
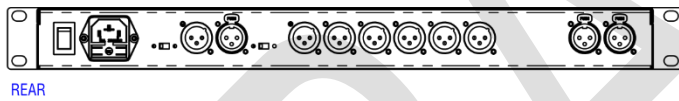
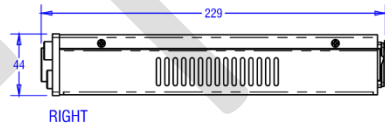
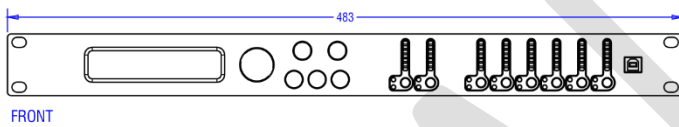
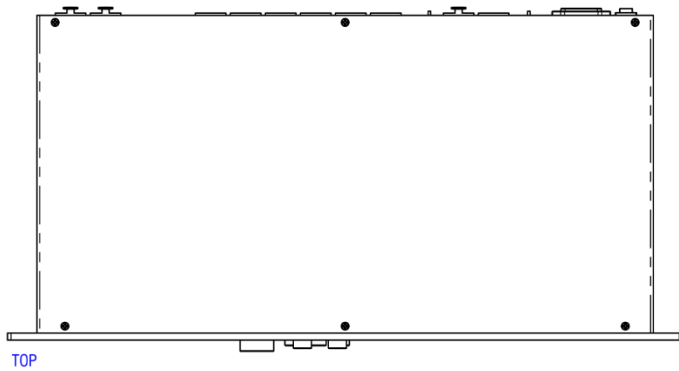
現在のソフトウェアとファームウェアのバージョンを表示します。



技術仕様

タイプ	スピーカー管理システム
オーディオ	
入力	電子バランスのとれた 2 つの XLR 入力
出力	6つの電子バランスXLR出力
最小荷重	150オーム
THD%N	0.001% (1kHz 0dBu)
S/N	>106dBA
周波数応答	20Hz-20kHz; 20Hzおよび20kHzで-0.5dB
AD/DAコンバーター	24ビット、96kHz (2023年10月以前のモデルは48kHz)
一般的な	
プリセット	48 個のユーザー プリセット (16 個のプリロードされた TNA サンプル、消去可能)
他の	オーディオ グランド リフト スイッチ、USB/RS485 グランド リフト スイッチ
リモート	リモートモニタリング用の RS485 入力/出力 XLR コネクタ
DSP	
DSPエンジン	DSP、24ビット (データ) ×96ビット (係数)
DSP 解像度	24 ビット (データ) × 24 ビット (coeff.), 54 ビット accregisters。中間処理データの 96 ビット精度
パラメトリックイコライゼーション	入力あたり 11 フィルター、出力あたり 7 フィルター
フィルターの種類	ベル、棚
フィルターゲイン	-12dBu から +12dBu まで 0.5dBu 分解能ステップで
中心周波数	20Hzから20kHzまで1Hzの分解能ステップで
フィルターQ/BW	Q 0.4 ~ 128
入力ゲイン	-12dB から +12dB まで 0.1dBu 分解能ステップ。
出力ゲイン	-18dB から +12dB まで 0.1dBu 分解能ステップ。
クロスオーバーセクション HPF/LPF	パターワース 6/12/18/24/36/48 dB/オクターブ。ベッセル 12/24 dB/オクターブ。リンクウィッツ-ライリー 12/24/36/48 dB/オクターブ
内部ノイズ発生器	ホワイト/ピンクノイズ; -30dBuから0dBuまでのレベル
入力ノイズゲート	-90dBu から -60dBu までのしきい値。アタックタイムは1ms~1000ms、リリースタイムは10ms~1000ms
入力 RMS コンプレッサー	-14dBu から +16dBu までのスレッシュホールドとバイパス。比率2:1~100:1;膝: 0%~100%。アタックタイムは5msから最大200ms、リリースタイムは0.1秒から最大3秒
出力 RMS コンプレッサー	-14dBu から +16dBu までのスレッシュホールドとバイパス。比率 2:1~100:1;膝: 0%~100%。アタックタイムは5msから最大200ms、リリースタイムは0.1秒から最大3秒
出力ピークリミッター	-14dBu から +16dBu までのスレッシュホールドとバイパス。アタックタイムは5msから最大200ms、リリースタイムは0.1秒から最大3秒。
ダイナミックラウドネスフィルター	入力: 0% ~ 100% のブーストフィルター、周波数 20Hz ~ 20kHz。出力 (出力 1、3、5 のみ): 0dBu から -6dBu までの減衰フィルター、周波数。 20Hz~1kHz Q 1~9.9ステップ 0.1
遅れ	900ミリ秒、10.4 μs の増分/減分ステップ。340 ms出力チャンネルごとに 10.4 μs の増分/減分ステップ
残留騒音	<-90dBu
電力要件	
交流電力	ユニバーサル電圧 100V-240V~ 50/60Hz、3 ピン IEC ソケット
AC消費電力	<30W
サイズ	
本体寸法 (HWD)	44 x 483 x 229mm、1.7インチ x 19インチ x 9インチ
単重	3.5kg、7.7ポンド
カートン寸法 (HWD)	9 x 53 x 30CM、3.5インチ x 20.9インチ x 11.8インチ、0.014 M3
梱包重量	4.5kg、9.9ポンド
EAN	5060109457957

寸法データ



安全情報

新製品の性能を十分に発揮し、故障なく末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、いつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

- 1) 開梱: 製品を開梱する際は、HH 工場から販売店への輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないか注意深く確認してください。万が一、破損があった場合は、元の箱に再度梱包し、販売店にご相談ください。元の輸送用ダンボールを保管しておくことを強くお勧めします。万が一、ユニットに障害が発生した場合でも、安全に梱包して修理のために販売店に返送できるためです。
- 2) アンプの接続: 損傷を避けるために、一般に、システムのオンとオフのパターンを確立し、それに従うことをお勧めします。すべてのシステム部品を接続した状態で、アンプの電源を入れる前に、ソース機器、ミキサー、エフェクトプロセッサなどの電源を入れてください。多くの製品には、電源のオン/オフ時に大きな過渡サージがあり、スピーカーに損傷を与える可能性があります。最後にアンプの電源を入れ、レベルコントロールが最小に設定されていることを確認すると、他の機器からのトランジェントがスピーカーに到達しなくなります。すべてのシステム部品が安定するまで (通常は数秒) 待ちます。同様に、システムの電源をオフにするときは、必ずアンプのレベルコントロールを下げた後、他の機器の電源を切る前にアンプの電源をオフにしてください。
- 3) ケーブル: スピーカー接続にはシールドケーブルやマイクケーブルを決して使用しないでください。アンプの負荷を処理できるほど十分ではなく、システム全体に損傷を与える可能性があります。それ以外の場所には高品質のシールドケーブルを使用してください。
- 4) 保守: ユーザーはこれらの製品の保守を試みるべきではありません。すべての整備は資格のあるサービス担当者に依頼してください。
- 5) すべての警告に注意してください。
- 6) すべての指示に従ってください。
- 7) この装置を水の近くで使用しないでください。
- 8) 乾いた布でのみ拭いてください。
- 9) 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
- 10) ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。
- 11) クラス I 構造の装置は、保護接続を備えた電源コンセントに接続しなければなりません。極性プラグまたは接地タイプのプラグの安全目的を無効にしないでください。極性プラグには 2 つのブレードがあり、一方のブレードは他方のブレードより幅が広くなります。接地タイプのプラグには 2 つのブレードと 3 番目の接地突起があります。安全のために幅広のブレードまたは 3 番目のブロングが提供されています。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、古いコンセントの交換について電気技師に相談してください。
- 12) 電源コードを、特にプラグ、コンセント、および装置からの出口部分で踏んだり挟まれたりしないように保護してください。
- 13) メーカーが提供するアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
- 14) メーカーが指定したカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブル、または機器と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、転倒による怪我を避けるため、カートと装置の組み合わせを移動するときは注意してください。
- 15) 電源プラグまたは電気製品のキャプラーは切断装置として使用され、容易に操作可能な状態を維持する必要があります。ユーザーは、このユニットと組み合わせて使用される電源プラグ、電源キャプラー、および電源スイッチに簡単にアクセスできるようにして、簡単に操作できるようにする必要があります。雷雨のとき、または長期間使用しないときは、この装置のプラグを抜いてください。
- 16) すべての整備は資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、液体がこぼれた場合や物体が装置内に落ちた場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、動作しない場合など、装置が何らかの損傷を受けた場合には保守が必要です。正常に、またはドロップされました。
- 17) グランドピンは絶対に折らないでください。ユニットの電源コードの隣にマークされているタイプの電源にのみ接続してください。
- 18) この製品を機器ラックに取り付ける場合は、背面サポートを提供する必要があります。
- 19) 英国のみの注意: このユニットの主電源リード線の色がプラグの端子と一致しない場合は、次の手順に従ってください。
 - 緑と黄色のワイヤは、緑または緑と黄色の文字 E (アース記号) が付いている端子に接続する必要があります。
 - 青色のワイヤは、N の文字または黒色のマークが付いている端子に接続する必要があります。
 - 茶色のワイヤは、L の文字または赤色のマークが付いている端子に接続する必要があります。
- 20) この電気機器は水滴や飛沫にさらさないようにし、花瓶などの液体の入った物体を機器の上に置かないように注意してください。
- 21) 非常に高い騒音レベルにさらされると、永久的な難聴を引き起こす可能性があります。騒音性難聴の感受性は個人によって大きく異なりますが、十分な時間、十分に強い騒音にさらされると、ほぼすべての人がある程度の聴力を失います。米国政府の労働安全衛生局 (OSHA) は、次の許容騒音レベル暴露を指定しています。OSHA によると、上記の許容限度を超える暴露は、一部の難聴を引き起こす可能性があります。暴露が上記の制限を超えた場合、永続的な難聴を防ぐために、この増幅システムを操作するときは、外耳道または耳の上に耳栓またはプロテクターを着用する必要があります。高音圧レベルへの潜在的に危険な曝露を防ぐため、この増幅システムのような高音圧レベルを生成できる機器に曝露されるすべての人が、このユニットの動作中に聴覚保護具で保護されることをお勧めします。
- 22) アプライアンスに傾斜機構またはキックバックスタイルのキャビネットが備わっている場合は、この設計機能を注意して使用してください。アンプはまっすぐな位置と後ろに傾けた位置の間を簡単に移動できるため、アンプは水平で安定した面でのみ使用してください。アンプを机、テーブル、棚、またはその他の不安定で不適切なプラットフォーム上で操作しないでください。
- 23) 特別な注意が必要な領域をオペレーターに警告することを目的として、製品および製品マニュアルで使用されている記号と用語は次のとおりです。

Duration Per Day in Hours	Sound Level dBA, slow response
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 1/2	102
1	105
1/2	110
1/4 ou inferieur	115

 <p>CAUTION:</p>	<p>製品の筐体内に人体への感電の危険を引き起こす可能性がある絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告することを目的としています。</p> <p>危険な電気の危険性を回避するために、安全な製品を使用する必要があります。</p> <p>このシンボルは、巨大なコリエンタで構成されているため、十分な電力を持つ製品の箱に接続されていない「(電圧)ペリグロソ」の存在をユーザーに警告するための提案に基づいています。</p> <p>この記号は、感電を引き起こすのに十分な大きさの、絶縁されていない危険な電圧が筐体内に存在することをユーザーに警告することを目的としています。</p>
 <p>WARNING:</p>	<p>製品に付属の資料に重要な操作およびメンテナンス (サービス) の指示が記載されていることをユーザーに警告することを目的としています。</p> <p>この記号は、感電を引き起こすのに十分な大きさの、絶縁されていない危険な電圧が筐体内に存在することをユーザーに警告することを目的としています。</p> <p>このシンボルは、製品に付属の資料に操作およびメンテナンスに関する重要な指示が記載されていることをユーザーに警告することを目的としています。</p> <p>これらのシンボルは、この目的のための説明書および説明書の指示に含まれており、製品のハンドハブおよびワルトゥンが含まれています。</p>
<p>注意:</p> <p>注意:</p> <p>注意事項:</p> <p>注意:</p>	<p>感電の危険があります - 開かないでください。感電の危険を軽減するため、カバーは取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。資格のある担当者に整備を依頼してください。</p> <p>感電の危険があります - 開かないでください。感電の危険を軽減するため、カバーは取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。メンテナンスは有資格者に依頼してください。</p> <p>Riesgo de corrientazo - アブラは禁止です。 Para disminuir el riesgo de corrientazo, no abra la cubierta. 修理が必要な部品はありません。ロス・テクニコス・カリフィカドのような、完璧な体験を。</p> <p>危険 - 感電!開いていません!感電の危険を避けるため、カバーを取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理有資格者のみから 専門スタッフ 実行する させて。</p>
<p>警告:</p> <p>警告:</p> <p>警告:</p> <p>注意:</p>	<p>感電や火災の危険を防ぐため、このアプライアンスを雨や湿気にさらさないでください。このアプライアンスを使用する前に、その他の警告については取扱説明書をお読みください。</p> <p>感電や火災の危険を防ぐため、このアプライアンスを雨や湿気にさらさないでください。このデバイスを使用する前に、ガイドにある追加の警告をお読みください。</p> <p>潜在的な火災の危険を避けるため、使用前に雨や湿気にさらさないでください。ただし、取扱説明書には警告が記載されています。</p> <p>感電や火災の危険を避けるため、このデバイスを雨や湿気にさらさないでください。前にインストール 取扱説明書を必ずお読みください 読む。</p>
	<p>このデバイスは FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作には次の 2 つの条件が適用されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> このデバイスは有害な干渉を引き起こす可能性はありません このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性がある受信した干渉を受け入れる必要があります。 <p>警告: HH によって承認されていない機器の変更または改造を行うと、機器を使用するユーザーの権限が無効になる場合があります。</p> <p>注: この機器はテストされ、FCC 規則のパート 15 に従ってクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、装置の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次の 1 つまたは複数の手段で干渉を修正することをお勧めします。受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。機器と受信機との距離を離してください。受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。</p>
	<p>この製品は、次の欧州規制、指令および規則の要件に準拠しています: CE マーク (93/68/EEC)、低電圧 (2014/35/EU)、EMC (2014/30/EU)、RoHS (2011/65) /EU)、ErP (2009/125/EU)</p> <p>簡略化された EU 適合宣言書</p> <p>ここに、HH Electronics Ltd. は、無線機器が指令 2014/53/EU、2011/65/EU、2009/125/EU に準拠していることを宣言します。EU 適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます。</p> <p>http://support.hhelectronics.com/approvals</p>
	<p>上記の宣言の目的は、関連する法的要件である電気機器 (安全) 規則 2016、電磁両立性規則 2016、電気および電子機器規則 2012 における特定有害物質の使用の制限、エネルギーのためのエコデザインに準拠していることです。関連製品およびエネルギー情報、2012 年 (改正) (EU 離脱) 規則</p>
	<p>環境へのダメージを軽減するため、耐用年数が終了した場合、この製品を通常の家廃棄物と一緒に埋め立てるに廃棄してはなりません。お住まいの国で適用される WEEE (電気電子機器廃棄物) 指令の推奨に従って、承認されたリサイクルセンターに持ち込む必要があります。</p>

HHエレクトロニクス株式会社
スチールパーク ロード、クームズウッド ビジネス パーク ウェスト、ヘイルソーウェン、B62 8HD。
HH エレクトロニクスはヘッドストック グループの一員です

WWW.HELECTRONICS.COM

継続的な開発の観点から、HH は事前の通知なしに製品仕様を修正する権利を留保します。

V1.1